

源平合戦を地図でたどっていくと

石川県 公立小学校教諭

1. はじめに

貴族から政権を奪い、武士によるはじめての幕府が開かれた鎌倉時代。その間には、平氏と源氏による武士どうしの壮絶な戦いがあった。そのいわゆる、源平合戦を地図帳でたどっていき、子どもたちはさまざまなことを発見し、当時のようすに思いをめぐらせていく。

2. たった5年で平氏が滅びたの？

源氏の棟梁源頼朝が挙兵したのは1180年。初戦は平氏に惨敗したにもかかわらず、そのわずか1か月余りで味方を数万人に増やすことに成功した。勢いに乗った源氏軍はその後快進撃を続け、1185年壇ノ浦で平氏を滅ぼした。子どもたちは大きな力をもっていた平氏がたった5年で滅んでしまったことに驚きをもち、その間にどのような戦いが起こったのかという問題意識をもった。



帝国書院『小学生の地図帳（初訂版）』p.31

3. 地図帳で源平合戦を追っていく

そこでまず、教科書に載っている源氏軍の進路を示した地図を見、西国へ平氏を追いつめていったことをつかんだ。その上で、主要な六つの戦い（石橋山、富士川、倶利伽羅峠、一の谷、屋島、壇ノ浦）を地図帳で調べ、白地図に位置づける作業を行った。その際に、（1）年代順に調べていくこと（2）主戦場となった地がある都道府県を調べ、白地図上に記していくこと（3）地図帳から読み取れる主戦場付近の地理的な特徴を書くこと、の

3点を条件として与えた。

これまでの歴史学習でも地図帳を活用しているので、地図帳での歴史地名や歴史事項の表記方法は知っている。その既習を活かしながら子どもたちはスムーズに調べ活動を進めていった。

完成した自作の地図を見ながら、作業を通してわかったことや考えたことを話し合った。

- ・ たった5年で関東から九州まで戦いが進んでいったことがわかりました。それは、源氏軍の武士たちの力が強く、勢いがあったからだと思います。
- ・ 海でも山でも戦いがあったことがわかりました。どんな戦法で源氏軍はそれぞれの戦いを勝ったのか、知りたくなりました。
- ・ 自分たちが住む石川県でも戦いがあったことをはじめて知りました。今度、その場所へ行ってくわしく調べてみたいと思いました。

今回の授業で地図帳活用のメリットは二つある。一つ目は、現在の日本地図に当時の戦いの足跡を重ね合わせてとらえることができるという点である。めくる地図帳のページが広範囲にわたることからも、戦いが全国各地におよんだことを実感し、たった5年間で平氏を滅ぼした源氏の強さや勢いをより鮮明に印象づけることができると考えた。二つ目は教科書の資料だけでは推測することがむずかしい主戦場の地理的なようすを、地図帳では比較的容易にとらえることができるという点である。義経のひよどり越えや義仲の火牛の計など、地形を活かしたざん新たな作戦によって、勝利を収めることができた戦いのようすに、子どもたちの興味をもたせることができると考えた。

4. おわりに

このように、地図帳を歴史学習で活用することは、当時の人々の姿を推測し、人々の願いや苦勞に迫る一つの手がかりとしてとても効果的であると考えます。今回取り上げた源平合戦にかぎらず、江戸時代の参勤交代の長い道のりを地図帳でたどっていく活動や、戦後復興における新幹線や高速道路など交通機関の急速な発達を地図帳で調べていく活動などを通して、今後も歴史のおもしろさを子どもたちに味わわせていきたい。